

1月例会はインド映画『ミッションマンガル』

1月27日(金)午後2時から、と、午後6時20分からの2回上映です。ご注意ください。

◇あけまして おめでとうございます

2020年1月に国内で初めて新型コロナウイルスの感染が確認されてから約3年です。おさまる気配がない中で2023年が明けました。みなさん年末年始いかがお過ごしでしたか？

最近テレビや新聞での「ウクライナ」の報道が少なくなってきました。戦禍がなかったわけではありません。この寒い中、ウクライナの人々は、どんな新年を迎えられたのか。故郷を離れざるをえなかった人、地元に残った人、戦っている方それぞれの生活が厳しいのは目に見えています。早く停戦し、砲弾におびえながらの生活から解放され、心豊かな生活ができるようにと願わずにはられません。戦争からは、何も生まれない！

12/24 運営委員会&ケーキセットで忘年会を加古川珈琲で開きました。運営委員4名、会員2名が参加。映画話で盛り上がりました。

さて、去年は、会場都合で変則的な例会日となりましたが、今年は、空調設備も新しくなり、5月例会は5月に開催ができます。2002年5月に設立して21年を迎え、ちょっと記念らしい内容も検討中です。1月例会は、2回上映です。時間を間違えないよう参加ください。

今年も「良質な映画上映」をしていくため、一緒に会員を増やし、ともに笑い、涙し、映画を楽しみましょう。本年もよろしくお祈りします。

(体調が悪い時は参加しない、手指の手洗い・消毒、マスクの着用、3密を避ける、大声で話さないなどを守って参加しましょう。)

例会のお知らせ

■名称／第121回例会『ミッションマンガル
～崖っぷちチームの火星打ち上げ計画～』

■日時／2023年1月27日(金)

①PM2:00～、②PM6:20～(2回上映注意)

■場所／加古川総合文化センター大会議室

(JR東加古川駅から北へ徒歩10分、車は加古川バイパス加古川東ランプ北東へ600m)

■受付／入会手続きが終わっている方は、受付に同封の「例会参加券」をお渡しください。入会手続きしていない方は、受付で4箇月分の会費(2000円)を支払い、入会手続きを終えてから「例会参加券」をお受取りください。

【例会作品データ】

■タイトル／
『ミッションマンガル
～崖っぷちチームの火星打ち上げ計画～』

■監督／ジャガン・シヤクティ

■出演／アクシャイ・クマール、ヴィディヤ・バラン、タープシー・パンヌー、ソーナークシ・シンハー、シャルマン・ジョシ、ニティヤ・メネン、キールティ・クルハーリー

■データ／2019年、インド、127分

■ジャンル／ヒューマンドラマ、コメディ

■解説／2010年、インドの宇宙事業の命運をかけたロケットの打ち上げが失敗に終わり、プロジェクト責任者のタラ(ヴィディヤ・バラン)とラケーシュ(アクシャイ・クマール)は誰もが実現不可能と考える火星探査プロジェクトという「閑職」に異動させられる。主婦でもあるタラは家庭料理など家事から閃いたアイデアで、小さなロケットでも探査機を火星に送る方法を思いつき、低予算ながらプロジェクトが始動する。しかし、花形の月探査プロジェクトに比べれば陰の存在であるプロジェクトにチームとして集められたスタッフは、トップクラスとは言えない、経験の浅い、いわば二軍の寄せ集め。はじめはバラバラのチームだったが、女性たちの節約アイデアで、わずかな予算でも火星打ち上げを成功に導くため、チームは結束し奮闘する。そして、2013年、彼らのアイデアと努力が詰まった火星探査機「マンガルヤーン」が火星へと打上げられた。 (作品ホームページから)

私の映画KAN 『ミセス・ハリス、パリへ行く』

『ミセス・ハリス、パリへ行く』を見に行ってきました。あいにくのお天気でしたが、映画館はマダムで大盛況でした。

舞台は第二次世界大戦後のロンドン。夫を亡くした家政婦ミセス・ハリスは働き先でディオールのドレスに出会う。あまりの美しさに完全に魅せられたハリスは、ディオールのドレスを手に入れるためにパリへ行くこと



を決意する。なんとか集めたお金でパリへと旅立った彼女が向かった先は、ディオールの本店。威圧的なマネージャーのコルベールから追い出されそうになるが、ハリスの夢をあきらめない姿勢は会計士のアンドレやモデルのナターシャ、シャサーニュ侯爵ら出会った人々を魅了していく。果たして彼女はディオールのドレスを手に入れて、夢を叶えることができるのだろうか……。

家政婦がディオールのドレスなんか仕立ててどこに来ていくのかとばかにされながらも、夢に向かって突き進む！簡単にいうと、シンデレラストory。展開が見えて面白くないという人もいるでしょうか、私は好きです、この映画。まずはハリスがチャーミング、ずっとかわいい！ディオール、ロンドン、パリ、画面が美しい！ただ楽しいだけの映画ではなく、その背景には、世界的な景気後退の影響を受け、大きな転換期をむかえたファッション業界が描かれている。当時、オート・クチュール（高級仕立て服）はどれも一点もので、ファッションショーもごくごく限られた大金持ちのお得意様だけに見せるものでしたが、その場所にルールも知らない家政婦のおばさんが乗り込んだんです。場違い感半端ないですけど、庶民として、ハリス、いったれ〜全力で応援しちゃう。ハリスが新しい風になって、周りを巻き込んで、更なる風を巻き起こす。

大竹しのぶさんの予告編も良かったしなあ、じんわりほっこり元気になる映画でした。

(菅)

【作品データ】

- タイトル／ミセス・ハリス、パリへ行く
- 監督／アンソニー・ファビアン
- 出演／レスリー・マンビル、イザベル・ユペール
- データ／2022年、イギリス、116分
- ジャンル／ヒューマンドラマ

前回の例会報告

12月1日(木)の11(12)月例会では、伝説の写真家ユージン・スミスと当時の妻が、1975年に発表した写真集「MINAMATA」制作を描いた同名の作品を鑑賞しました。参加者からの感想は、「写真のもつ人々に伝える力の大きさを知った」「ずいぶん時がたっても水俣病の問題が今だ解決していないことも知り残念に思った。」「水俣の映画だと知ったときは、暗い感じがして参加したくなかったが、社会の明部も暗部もどちらも真っ向から見る目を持たないといけなと思いました。」「世界中でたくさんのお〇〇中毒、△△被害があることを今さながら知りました。」「公害による事故が無くなることを祈ります。」「ジョニー・デップの意外な面、知りました。」「商業映画やテレビドラマとは一線を画したい作品でした。」というものでした。

参加会員79名(新入会2名)、明石シネマクラブから10名参加。

明石シネマクラブ例会情報

- 名称／第75回例会『モロッコ、彼女たちの朝』
(2019年、モロッコ・フランス・ベルギー合作、101分)
- 監督／マリヤム・トゥザニ
- 出演者／ルブナ・アザバル、ニスリン・エラディ
- ジャンル／ヒューマンドラマ
- 解説／モロッコの女性監督マリヤム・トゥザニの長編監督デビュー作。

地中海に面する北アフリカの国モロッコを舞台に、それぞれ孤独を抱える2人の女性がパン作りを通して心を通わせていく姿を、豊かな色彩と光で描くイスラム社会では未婚の母はタブーとされ、美容師の仕事も住居も失ってしまった。ある日、彼女は小さなパン屋を営むアブラと出会い、彼女の家に招き入れられる。アブラは夫を事故で亡くし、幼い娘との生活を守るため心を閉ざして働き続けていた。パン作りが得意でおしゃれなサミアの存在は、孤独だった母子の日々に光を灯す。



- 日時／2月17日(金)①PM2:00-、②PM4:30-、③PM7:00-
- 場所／アスピア明石9階階午線ホール(JR明石駅徒歩5分)
- 目的・内容／加古川シネマクラブと明石シネマクラブの交流事業として、映画鑑賞の機会を増やし新入会員を増やそうと、例会に相互参加できるようにしています。
- 受付／会場受付で、①加古川シネマクラブの会員であることを証明するもの(氏名が記されている例会参加券が送られてきた封筒など)を提示し、②鑑賞希望であることを告げて、③受付簿にサインする
- 明石シネマクラブ TEL 090-3860-6662 (金沢まで)

ご意見をお待ちしています

映画の感想や意見など、このニュースへ記事をお寄せください。200-300字程度にまとめていただければ助かります。おすすめ作品をファックス、メールや例会会場のアンケート用紙でお知らせください。

加古川シネマクラブ 〒675-0101

加古川市平岡町新在家 752-46 B-313 山本方

TEL 090-9283-0435 FAX 079-425-4499 ※

E-MAIL cinemaclub@nifty.com

<http://kakogawacinemaclub.c.ooco.jp/>

※ファクシミリ番号が変わっています。

会員数 123 人(12月1日現在)